

安全衛生マネジメント

安全衛生方針

人命尊重を最優先した安全第一主義を徹底し、労働安全衛生マネジメントシステムを継続的に改善、「安全文化」を定着させる

行動指針

1. 拠点毎に全員で声をかけ合って、安全意識を高める
2. 三現主義（現場・現物・現実を診る）を徹底させ、死亡・重篤災害ゼロ／公衆災害ゼロを目指す
3. 安全衛生関連法令等を順守した日常の活動を実践する
4. メンタルヘルス対策による健康快適職場の形成と、作業環境管理により業務上の疾病を予防す

安全衛生マネジメントシステムの推進

当社グループでは、建設業労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS）の適切な運用を図っています。

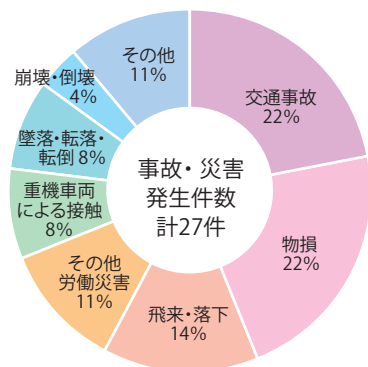
2017年度の事故・災害件数は、27件（前期比113%）と前期に比べ増加しました。内訳では、労働災害が12件（同109%）、第三者損傷が6件（同150%）、交通事故が6件（同86%）、その他3件（同150%）となりました。

要因分析すると、高齢者の身体機能低下、慣れ・過信からの安全意識低下、若年者や経験の浅い者による危険

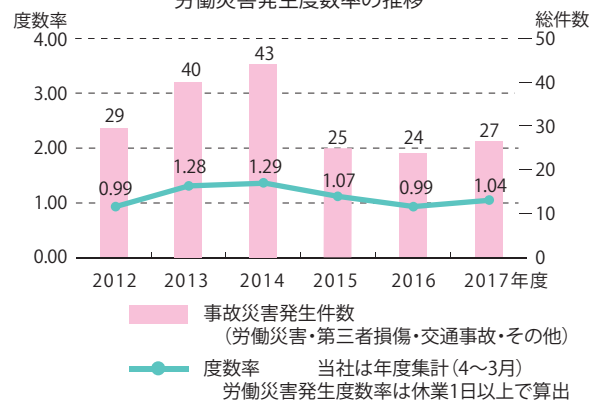
見逃し、基本ルール違反による災害、重機との接触による事故が発生しました。第三者損傷においては、過年度の教訓が活かされず、施工中の指示確認不足による重大な地下埋設物損傷事故が発生しました。

2018年度の安全衛生方針は、『人命尊重を最優先した安全第一主義を徹底し、労働安全衛生マネジメントシステムを継続的に改善、「安全文化」を定着させる』としています。

2017年度事故・災害発生原因の内訳



当社の事故災害発生総件数及び労働災害発生度数率の推移



安全衛生・環境パトロール

毎年、「全国安全週間」「環境月間」にあわせ、本社役員による安全衛生・環境パトロールを行っています。経営トップ自ら事業所、工事現場、アスファルト合材センター

のパトロールを行い、安全衛生・環境意識の高揚と事故・災害防止の重要性について、さらに認識を高めるようにしています。



久松社長現場ミーティング（北関東支店）



井口専務現場パトロール（東京支店）